

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社 ナカノフード建設
 コード番号 1827 URL <http://www.wave-nakano.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 橋本 武典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 哲夫
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東大

TEL 03-3265-4664

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	72,161	—	1,290	—	1,168	—	667	—
20年3月期第3四半期	75,191	—	1,559	—	1,524	—	1,292	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	19.40	—	—	—
20年3月期第3四半期	37.56	—	—	30.61

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円	銭
21年3月期第3四半期	78,693	—	8,751	—	10.8	—	246.53
20年3月期	73,542	—	11,285	—	14.7	—	259.91

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 8,480百万円 20年3月期 10,774百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
20年3月期	—	—	—	6.00	—	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	—	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	120,000	3.1	2,500	△7.0	2,300	△9.3	1,750	△1.0	50.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。](3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	34,498,097株	20年3月期	34,498,097株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	97,223株	20年3月期	88,663株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	34,404,958株	20年3月期第3四半期	34,416,300株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当総額は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第I種優先株式					
20年3月期	—	—	—	8 54	8 54
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 平成20年7月4日に第I種優先株式3,600,000株を取得、消却したことにより、第I種優先株式はなくなったため、平成21年3月期の第I種優先株式に係る期末配当はありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、受注高は、国内建設事業が734億74百万円、海外建設事業が226億96百万円となり、合計は961億71百万円となりました。

売上高は、建設事業711億18百万円に不動産事業他10億43百万円を合わせ、721億61百万円となりました。

また、損益面におきましては、営業利益12億90百万円、経常利益11億68百万円となりましたが、投資有価証券評価損1億64百万円等を特別損失に計上したことなどにより、四半期純利益は6億67百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、当社におきましては主として工事完成基準によっているため、通常の営業形態として期末に完成する工事の割合が大きいという季節的変動要因があり、通期予想売上高に対する第3四半期の売上高の割合は低くなっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ51億50百万円増加し、786億93百万円となりました。これは、「受取手形・完成工事未収入金等」が55億13百万円減少しましたが、「未成工事支出金」が105億79百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ76億85百万円増加し、699億42百万円となりました。これは、「支払手形・工事未払金等」が29億87百万円減少しましたが、「借入金」が30億34百万円及び「未成工事受入金」が76億45百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ25億34百万円減少し、87億51百万円となりました。これは、優先株式の消却19億22百万円を実施したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、未成工事支出金及び未成工事受入金の増加、売上債権及び仕入債務の減少などにより6億74百万円のプラスとなり、投資活動によるキャッシュ・フローは、55百万円のプラスとなり、財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の増加などにより8億6百万円のプラスとなりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前連結会計年度末に比べ10億42百万円増加し、110億66百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、現時点では平成20年5月20日発表の業績予想に変更はありません。

なお、取引先の破綻などの影響により、今後業績予想に変更が生じた場合には、速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の方法については、連結会計年度に係る減価償却費の年間予定額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

従来、販売用不動産及び不動産事業支出金は個別法による低価法、材料貯蔵品は最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、販売用不動産及び不動産事業支出金は個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、材料貯蔵品は最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

④ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 (平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号 (平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,787	10,857
受取手形・完成工事未収入金等	16,044	21,557
未成工事支出金	29,429	18,849
その他のたな卸資産	507	518
繰延税金資産	459	812
その他	1,926	2,078
貸倒引当金	△679	△697
流動資産合計	59,473	53,976
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,389	3,548
土地	10,832	10,895
その他（純額）	480	377
有形固定資産合計	14,701	14,822
無形固定資産		
投資その他の資産	148	146
投資有価証券	2,344	2,932
繰延税金資産	1,138	729
その他	1,118	1,160
貸倒引当金	△232	△225
投資その他の資産合計	4,368	4,597
固定資産合計	19,219	19,565
資産合計	78,693	73,542

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	29,800	32,788
1年内償還予定の社債	100	100
短期借入金	6,348	3,139
未払法人税等	100	94
未成工事受入金	23,312	15,666
引当金	678	1,377
その他	1,266	1,189
流動負債合計	61,607	54,356
固定負債		
社債	850	900
長期借入金	5,034	5,208
繰延税金負債	356	277
退職給付引当金	787	673
負ののれん	243	—
その他	1,064	840
固定負債合計	8,335	7,899
負債合計	69,942	62,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	4,035	5,527
自己株式	△25	△23
株主資本合計	10,472	11,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	50	306
為替換算調整勘定	△2,041	△1,498
評価・換算差額等合計	△1,991	△1,192
少数株主持分	270	511
純資産合計	8,751	11,285
負債純資産合計	78,693	73,542

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	72,161
売上原価	66,679
売上総利益	5,482
販売費及び一般管理費	4,191
営業利益	1,290
営業外収益	
受取利息	76
受取配当金	38
負ののれん償却額	42
その他	27
営業外収益合計	185
営業外費用	
支払利息	231
その他	75
営業外費用合計	307
経常利益	1,168
特別利益	
貸倒引当金戻入額	24
償却債権取立益	28
その他	3
特別利益合計	56
特別損失	
投資有価証券評価損	164
関係会社清算損	17
貸倒引当金繰入額	33
その他	7
特別損失合計	221
税金等調整前四半期純利益	1,003
法人税、住民税及び事業税	214
過年度法人税等戻入額	△163
法人税等調整額	175
法人税等合計	226
少数株主利益	109
四半期純利益	667

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,003
減価償却費	239
負ののれん償却額	△42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△539
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	118
受取利息及び受取配当金	△114
支払利息	231
売上債権の増減額 (△は増加)	4,667
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△10,598
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,055
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	7,775
その他	306
小計	1,000
利息及び配当金の受取額	114
利息の支払額	△223
法人税等の支払額	△216
営業活動によるキャッシュ・フロー	674
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△150
定期預金の払戻による収入	210
有形固定資産の取得による支出	△97
有形固定資産の売却による収入	25
無形固定資産の取得による支出	△12
投資有価証券の取得による支出	△9
その他	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	55
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,293
長期借入金の返済による支出	△259
社債の償還による支出	△50
自己株式の取得による支出	△1,924
配当金の支払額	△237
その他	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	806
現金及び現金同等物に係る換算差額	△494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,042
現金及び現金同等物の期首残高	10,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,066

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	5,061	1,400	5,527	△23	11,966
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△237		△237
四半期純利益			667		667
自己株式の取得 (注)				△1,924	△1,924
自己株式の消却 (注)			△1,922	1,922	—
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計			△1,492	△1	△1,494
当第3四半期連結会計期間末残高	5,061	1,400	4,035	△25	10,472

(注) 平成20年6月27日開催の定時株主総会及び同日開催の取締役会の決議に基づき、平成20年7月4日付けで第I種優先株式(3,600千株)を1,922百万円で取得し、これを消却した。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表等
(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
I 売上高	75,191
II 売上原価	69,650
売上総利益	5,541
III 販売費及び一般管理費	3,982
営業利益	1,559
IV 営業外収益	255
V 営業外費用	290
経常利益	1,524
VI 特別利益	2,014
VII 特別損失	1,562
税金等調整前四半期純利益	1,976
税金費用	528
少数株主利益	155
四半期純利益	1,292

6. その他の情報

連結業績の建設事業の受注高、売上高、繰越高

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
受 注 高	国内	78,635	75.6	73,474	76.4	△ 5,160	△6.6
	海外	25,431	24.4	22,696	23.6	△ 2,735	△10.8
	合計	104,066	100.0	96,171	100.0	△ 7,895	△7.6
売 上 高	国内	59,298	80.4	50,178	70.6	△ 9,120	△15.4
	海外	14,499	19.6	20,939	29.4	6,440	44.4
	合計	73,798	100.0	71,118	100.0	△ 2,680	△3.6
繰 越 高	国内	114,029	79.0	125,458	78.1	11,429	10.0
	海外	30,220	21.0	35,204	21.9	4,983	16.5
	合計	144,250	100.0	160,663	100.0	16,412	11.4

なお、参考のため提出会社単独の建設事業の状況は次のとおりである。

(単位：百万円)

			前第3四半期累計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日		比較増減	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
受 注 高	建築	官公庁	2,191	2.8	16,740	22.5	14,548	663.9
		民間	76,021	96.2	56,783	76.3	△ 19,238	△25.3
		計	78,213	99.0	73,523	98.8	△ 4,690	△6.0
	土木	官公庁	357	0.4	754	1.0	396	110.9
		民間	457	0.6	109	0.2	△ 347	△76.0
		計	814	1.0	863	1.2	49	6.0
	合計	官公庁	2,549	3.2	17,494	23.5	14,945	586.3
		民間	76,478	96.8	56,892	76.5	△ 19,586	△25.6
		計	79,027	100.0	74,386	100.0	△ 4,640	△5.9
売 上 高	建築	官公庁	5,221	8.8	5,677	11.1	455	8.7
		民間	53,730	90.2	44,102	86.6	△ 9,627	△17.9
		計	58,952	99.0	49,780	97.7	△ 9,171	△15.6
	土木	官公庁	59	0.1	647	1.3	587	989.5
		民間	531	0.9	516	1.0	△ 15	△2.9
		計	591	1.0	1,163	2.3	572	96.8
	合計	官公庁	5,281	8.9	6,324	12.4	1,043	19.8
		民間	54,262	91.1	44,619	87.6	△ 9,643	△17.8
		計	59,543	100.0	50,943	100.0	△ 8,599	△14.4
繰 越 高	建築	官公庁	16,013	14.0	25,232	20.0	9,219	57.6
		民間	96,060	84.2	99,229	78.7	3,168	3.3
		計	112,074	98.2	124,461	98.7	12,387	11.1
	土木	官公庁	567	0.5	650	0.5	82	14.6
		民間	1,496	1.3	1,000	0.8	△ 496	△33.2
		計	2,064	1.8	1,650	1.3	△ 413	△20.0
	合計	官公庁	16,581	14.5	25,883	20.5	9,302	56.1
		民間	97,557	85.5	100,229	79.5	2,672	2.7
		計	114,138	100.0	126,112	100.0	11,974	10.5